

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	保健福祉部
課室名	生活支援課

予算	款	項	目	決算書	
	3	3	2	118	頁

目名
児童措置費

事務事業名称
保育所運営委託事業

1. 概要

目的	保育事業を実施するため認可私立保育園へ運営費を交付する	対象	保育に欠ける児童
事業概要	<p>○児童措置費・・・保育所運営委託事業 認可私立保育所数：扇田保育園、双葉保育園、百枝保育園、すがお保育園、大野ルンビニー保育園、千歳保育園 日々家庭での保育に欠ける乳幼児を、市内6園の認可私立保育所と管外の保育所へ入所委託を行うための運営費を交付する</p> <p>○にこにこ保育支援事業・・・保育料の多子軽減を目的に、戸籍上第2子3歳未満児の保育料を半額、第3子以降3歳未満児の保育料を無料とする</p>		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	児童措置費	運営費の交付	扶助費	429,537	415,629	225,912		81,778	107,939	3
経常	にこにこ保育支援事業	延対象者 2,561人	扶助費	26,457	26,457	13,198	12,269		990	3
計				455,994	442,086	239,110	12,269	81,778	108,929	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	保育に欠ける児童の受け入れ	目標年度	H26	指標の設定理由			
	数値	375人			豊後大野市キラキラこどもプランの数値目標として設定しているため			
活動指標	指標	a	待機児童の解消	b	定員の見直し	c		d
	数値	目標	0人	目標	10人	目標		目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
保育に欠ける児童の受け入れ	人	426 人	435 人	410 人
	%	113.6 %	116.0 %	109.3 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 待機児童の解消	人	0 人 100.0 %	6 人 —	24 人 —
b 定員の見直し	人	—	—	—
c		—	—	—
d				

## 4. 課題と対応

課題
低年齢児の受け入れを図っているが、各保育所とも保育士の確保に苦慮している
対応（改善点等）
保育士を養成する学校やハローワークに情報を発信する

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

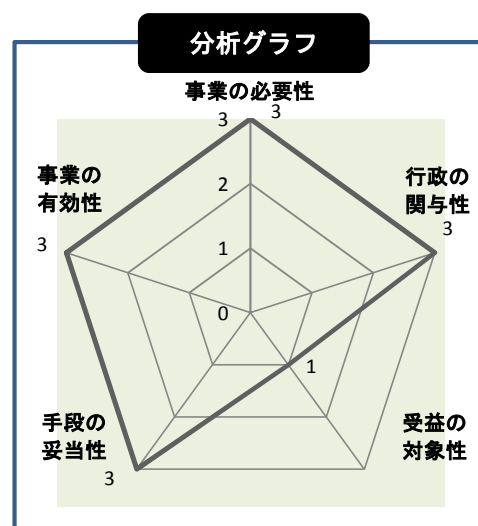
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		454,460	448,899	442,086	444,666
うち経常経費		454,460	448,899	442,086	444,666
財源内訳	国費	160,105	150,405	150,608	152,355
	県費	93,497	88,938	88,502	88,962
	市債			12,269	12,096
	その他	76,772	82,160	81,778	92,006
	一般財源	124,086	127,396	108,929	99,247
うち経常		124,086	127,396	108,929	99,247
事業費に係る人件費		5,943	5,973	6,132	6,020

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
増額
理由
平成24年4月1日より、公立保育所5園の内4園が民営化されるため、措置費が新たに発生するため

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 保育サービスの充実は市の責任のもとに行われなければならない
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令の基づき市の負担が義務付けられているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 保育に欠ける児童が対象のため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 待機児童の解消、保育サービスの充実、定員の見直しは、適切な手段であると判断する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標の達成率は高く、有効性は高いと判断できるため



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	これまでの措置に併せ4園の民営化による(1園継続)